



# 風邪症候群の漢方治療

黄懷龍

当資料の転載、複製、改変等は禁止いたします。



# 一、はじめに

## 1、概 念

かぜ症候群は、上気道（鼻、咽頭、喉頭）の急性炎症のみでなく、最近では下気道（気管、気管支、肺）にまで広がって急性炎症をきたす疾患を総称していわれる。

中医では「感冒」と称し、主に風邪を感受することによって発症する外感疾患であり、悪寒発熱、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、咳嗽、頭痛・全身のこわばりといった症状を特徴とする病証である。

## 2、症 状

くしゃみ、鼻汁、鼻閉、のどの痛み、咳、痰などの呼吸器症状。

悪寒発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛、食欲低下など症状が見られる。

- その他

吐気、嘔吐、腹痛、下痢などの消化器症状を伴う場合もある。

## 二、病因病機

風邪が正気不足に乗じて、口鼻や皮膚より侵入し、衛表不和や肺の宣粛失調を招く発症する。

### 1、病 因

- 1) 外感：風邪を感受する  
兼邪：冬(風寒)、春(風熱)、梅雨(湿邪)  
夏(暑邪)、秋(燥邪)
- 2) 時行疫毒を感受する
- 3) 正気不足  
陽虚：風寒を感受しやすい  
陰虚：風熱を感受しやすい

## 2、病 機

### ①衛氣不足

一時不足

※異常な気候、六淫或は時行疫毒の流行、衛氣が相対的に衰弱→集団発症。

※生活習慣の乱れ、寒温調節の不適切、労作過度→外邪を感受しやすい→散在的発症。

常に不足

※体が虚弱なため衛表の防御機能が低下

※肺経に痰熱或は痰湿内蘊→肺衛機能低下

## ② 外邪乘襲

外邪が肺衛を侵す→ 肺衛不和（主に衛表不固）

### 3、病 位：

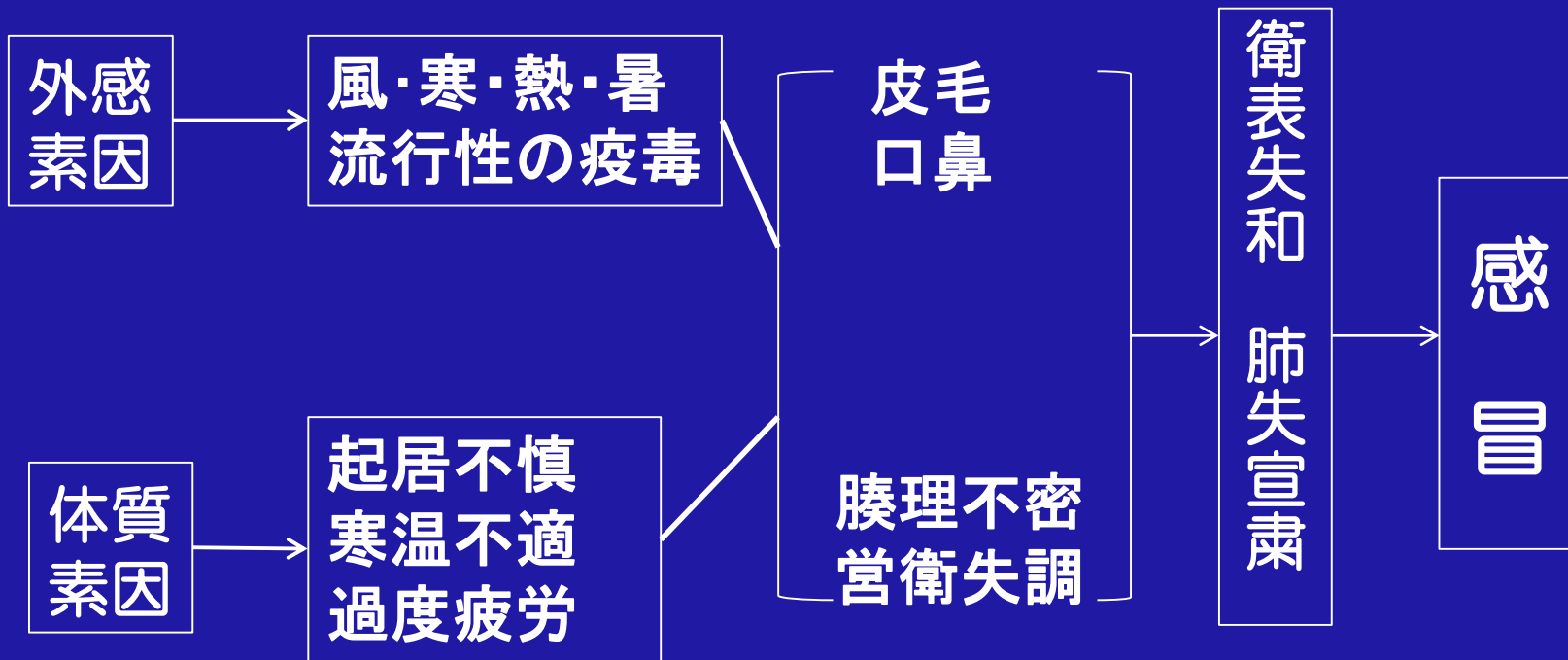
肺・衛

### 4、発 病：

「正気存内、邪不可干」

衛気の強弱／邪気の軽重

# 風邪症候群の病因病機



# 三、弁証論治

## 1、弁証ポイント

### 風寒と風熱の弁証

	風寒証	風熱証
悪寒と発熱	強い悪寒・軽度の発熱	身熱が著しい. やや悪風
随伴症状	水様性の鼻水	黄濁性の鼻水・咽喉痛
口渇	なし	あり
舌	舌苔薄白	舌苔薄黄・舌両側と尖が赤い
脈	浮緊	浮数



## 兼邪の弁証

	暑 邪	燥 邪	湿 邪
悪寒と発熱	発熱、やや悪風寒	悪寒・発熱	発熱、やや悪風寒
随伴症状	肌層に灼熱感・口渇、心煩・倦怠感	乾燥の性質で、津液を傷る、咽と唇の乾燥・空咳、肺を傷りやすい	肢体がだるくて痛む。胸悶・胃院部の痞え・泥状便
汗	多い	少ない	少し粘い汗
舌象	舌質紅・苔薄白 舌質乾燥	舌質乾燥・苔薄	舌苔白膩
脈象	数	浮	浮濡

## 2、証 治

### 1、風寒型

【症状】 悪寒発熱、体を温めても発汗しない、筋肉や関節の痛み、頭痛、鼻詰まりや透明な鼻水、咳嗽、白色痰、口渇なし、喉の痛みやかゆみ、舌苔は薄白、脈は浮緊。

【治法】 辛温解表、疏散風寒

【方薬】 荊防敗毒散（荊芥、防風、羌活、独活、柴胡、桔梗、川芎、枳殼、前胡、甘草）

## 2、風熱型

【症 状】 発熱軽い悪寒、時に発汗、頭痛、咳嗽、黄色粘稠痰、口渇、喉の腫脹や痛み、鼻詰まり、濁った鼻水、舌苔は薄白又は薄い黄色、脈は浮数

【治 法】 辛涼解表、清熱肅肺

【方薬】 銀翹散加減（金銀花、連翹、桔梗、薄荷、竹葉、荊芥、淡豆豉、芦根、牛蒡子、甘草）

### 3、気虚感冒

【症状】 平素より全身がだるい。カゼを引きやすい、悪寒が比較的重い、発熱、頭痛、肢体がだるい、舌質淡、苔白、脈浮無力。

【治法】 益気解表

【方薬】 参蘇飲（人参、紫蘇、葛根、前胡、半夏、茯苓、橘紅、甘草、桔梗、枳殼、木香、陳皮、生姜、大棗）

## 4、陰虚感冒

【症状】平素よりほてりがある、発熱、やや悪風寒、少汗、空咳、痰少、舌質紅、苔少、脈細数

【治法】滋陰解表

【方藥】加減威蕤湯（玉竹、葱白、桔梗、淡豆豉、薄荷、白薇、大棗）

### 3、兼 証

#### A、挟 湿

湿の症状が強い場合、即ち風寒型の症状に加え、下痢や腹痛、胸がむかむかして熱っぽく、頭は腫れたように重苦しく感じ、骨や関節の痛みなどがあるとき。

【治 法】 解表除湿

【方薬】 風寒型の方薬に蒼朮、厚朴、半夏、草豆蔻、茯苓などの辛温滲利の生薬を加え、主に胃腸の働きをつよめて湿をさばく。

## B、挟暑

夏風邪には風邪と共に暑邪と湿邪が加えって複雑な症状の他に身熱、発汗、動悸や胸の煩躁感、口渇、濃縮尿黄膩舌苔、濡脈などを呈する。

【治法】 解表清暑、芳香化湿

【方薬】 新加香薷飲加減（金銀花、連翹、香薷、厚朴、扁豆、藿香、佩蘭など）

## C、兼 虚

感冒が何度も繰り返し、いつまでも治り切れない場合。体質が虚で、繰り返し感冒にかかる者は病邪を除くだけではなく、体力をつける作用も加味された扶正祛邪の治療を主に用いるべきである。

【治法】 益気解表

【方薬】 参蘇飲加減（党参、紫蘇葉、前胡、葛根、半夏、陳皮、茯苓、桔梗、枳殼、木香、甘草）





お疲れ様でした！